

# 小方小通信

10月に入ったと同時に、急激に朝晩が肌寒くなってきたように思います。体調管理には十分留意され、元気に登校してきてほしいと思います。10月28日(土)には、学園祭も実施されます。どうぞお楽しみにしてください。

## 学校朝会 学校長の話

おはようございます。小方学園の小・中学生のみなさん!!元気ですか!? 元気があれば、10月は、学園祭も頑張れる。最近、また登校してくるたびに、校長先生を見つけて大きな声であいさつをしてくれる人が増えました。今日のあいさつの飛距離の最高記録は、41.5メートルでした。

さて、今日は、校長先生が始業式でお話した「いじめ」のお話の感想の紹介をします。

思い出してください。始業式では、「いじめ」というのは、4つのグループがあって、1つ目は「いじめられる人」、2つ目は「いじめの人たち」。3つ目は「いじめを見て、はやし立てたり喜んだりする人たち」、4つ目は「いじめを黙って見ている人や、見て見ぬふりをする人たち、傍観者」というグループです。「いじめられる人」以外、みんないけないことをしている人であること。でも、いけないと思って、いじめを止める人や何とかしようとする人、先生や親に相談する人もいる、そのような人になってほしいというお話をしました。このことについて、中学生は、始業式でお休みの人以外、全員が感想文を書いてくれました。時間もないので、いくつかだけ紹介します。内容は、4つ目の「いじめを黙って見ている人や、見て見ぬふりをする人たち、傍観者」についてのことです。

まず、「見て見ぬふりをするのが、なぜいけないのか」について書いてくれている人の感想です。

「見ているだけの人や見て見ぬふりをする人は、いじめを黙認しているのと同然であり、これもあってはならないことだと思えました。」

その通りです。いじめを知って、黙って見ているだけの人は、いじめを認めていることになります。誰かが何とかしないと、いじめはどんどんひどくなります。いじめをしても、誰も何も言わないと、もっとエスカレートします。いじめられている人がまず「やめて!」ということができれば、よいのですが、いじめられる立場になればなかなか言えないことがあります。言えないからと言って、いじめられる人は決して悪くありません。何か理由があるから、いじめられるのは仕方がない、ということも決してありません。そこで、「止めようとする人、何とかしようとする人」になってほしいです。校長先生のお話を受けて、自分と向き合って深く考えている人がたくさんいました。そのうちの3人の人の感想の一部を紹介します。

1人目。「今まで、困っている人がいて見て見ぬふりをするのが、正直私にはありました。でも、友達と一緒に先生に相談することが誰かを助けることにつながるのなら、勇気を出すことも少しは怖くない気がしました。」

2人目。「もし、いじめを目撃したとしても、私なら止められる勇気があるのか?と自分にきいても、必ずYesとは言えないと思うので、いじめを止められる勇気のある人になりたいと思いました。」

3人目。「私はいじめの現場にいるとき、傍観者になってしまうなと思いました。別にいじめに加担しているわけじゃないし、助けるのも怖いからです。ですが、校長先生のお話についてのお話を聞いて考えが変わりました。もし、自分がいじめられる立場になってしまったらと考えたとき、傍観者の人たちにも助けてほしいと思いました。私は、これからそういう現場にあったとき、少しでもいじめがなくなるように、先生などの大人に相談できる人になりたいです。」

さすが、中学生です。いろんな立場から、いろんな角度から、深く考えています。校長先生のお話から自分と

正面から向き合って、さらに相談できる人になりたい、強く、勇気のある人になりたいという思いが伝わりました。これだけ、考えてくれる人がいますので、お話をして本当によかったと思っています。いじめに限らず、身の回りのことで、「これはおかしい」と思うような言葉や行動があれば、注意しよう、止めよう、何とかしようとする、心が強く、勇気のある人になってほしいと思います。安全・安心な学校で、学園祭では、一人残らず力を出し切って、学園祭を大成功させましょう。終わり。

### 9月19日弁当の日

食に関する知識や食材の選択・調理に関する実践力を高め、また、感謝の心を育むことをねらいとして、5年生以上を対象として毎年「弁当の日」を実施しています。初めての弁当の日だった5年生に話を聞くと、「夏休みから作るものを考えていた。卵焼きは手伝ってもらわずに自分で作った。」「季節の果物をもってきた。梨の皮をむくのが難しかった。」「味付けはやってもらったが、唐揚げを自分で揚げた。」など、達成感を感じることができており、楽しく食べていました。



### 1年生 交通安全教室

命を守るためには、どういう行動をすることが大切なのか、大竹警察署の井上さんをお招きして、交通安全教室を行いました。「青信号になったのを確認すること」「左右をしっかりと見ること」「手を挙げてわたること」を学校前の横断歩道で実践しました。また、DVDを視聴し、道路では死角になる部分があることやその危険性について学び、交通ルールを守って安全に生活しようという気持ちを高めていました。



### 3年生 社会見学

9月27日(水)、社会科の「わたしたちの市のようす」「工場ではたらく人」の学習で、「大井水産いりこ工場」「ゆめタウン大竹店」に社会見学に行きました。仕事内容や工夫・苦労について話を聞き、しっかりとメモを取りながら見学していました。本物を見る、本物に触れることがなによりの学びですね。



### 4年生 総合的な学習の時間

先日、小方学園に、三菱ケミカル様よりペットボトルのお茶720本が送られてきました。大竹市内に配布する10000本のうちの一部です。ラベルの水平リサイクルの実証実験に環境問題を学習している4年生が参加させてもらうということで学習を進めており、小方学園のみんなにお茶を配布し、その回収率を調べるということです。ラベルを集めることがどのように環境を守ることにつながるのか、4年生がしっかりと考え発信する準備を進めています。10月中旬には、全校児童生徒教職員に一本ずつ配布されることになっています。市内でもこの活動に関わるペットボトルの配布が行われ、すでに、大竹市内のスーパーでは、児童が制作した回収ボックスが設置されているとのことです。環境を守るために私たちができることを子供たちと一緒に取り組んでいきましょう。



### 6年生 光庭ボランティア清掃

春先から住んでいたツバメの影響でしばらくは使用することができなかった光庭ですが、南の国に飛び立ったので、6年生がボランティアでツバメのフンや伸びている草をとってくれました。にぎやかな子供たちの声が光庭から響いています。

